

■一般目標 (GIO)

歯科衛生活動を行うために、専門的知識、技術、態度について理解し、歯科衛生士として身に付けておくべき基礎を修得する。

■到達目標 (SBOs)

- ・ 歯科衛生と健康の関わりを説明できる。
- ・ 歯科衛生士の誕生について概要を説明できる。
- ・ 保健行動の理論を説明できる。
- ・ 歯科衛生業務に関連する法規を列挙できる。
- ・ 安全管理の必要性を説明できる。
- ・ 倫理の必要性について説明できる。
- ・ 歯科衛生活動の種類と業務の概略を説明できる。
- ・ 海外における歯科衛生士の教育内容を概説できる。

■教科書：歯科衛生学シリーズ 歯科衛生学総論（医歯薬出版）

■参考書：特に指定しない

■授業時間：月曜日 9：00～9：50

* 6月26日 金曜日 13：00～16：50（IPE教育として医学部、薬学部、看護専門学校との合同授業となります）

■オフィスアワー：満足 愛 (manzoku.ai@nihon-u.ac.jp)

国井 知余 (kunii.chiyo@nihon-u.ac.jp)

中澤 広美 (nakazawa.hiromi@nihon-u.ac.jp)

矢野 杏佳 (yano.kyoka@nihon-u.ac.jp)

月曜日～金曜日 9：00～17：00

■授業の方法：スライドおよび配布プリントを用いて講義を行う。

■準備学習・
準備学習時間：講義内容の復習、予習を行う時間を設けること。

■成績評価方法：成績は前期（50%）、後期（50%）を総合的に評価する。
前期は定期試験（45%）、提出物（各担当教員にて実施する平常試験またはレポート：5%）にて評価する。

■注意事項：IPE教育は必ず出席してください。

欠席の場合、振替日はなく減点対象となります。

■実務経験：満足愛：日本大学歯学部附属歯科病院にて口腔衛生管理を専門とした歯科衛生業務の経験と歯周病学会認定歯科衛生士としての立場を基に、今後の歯科衛生士に求められる知識や態度についてわかりやすく学べる場を提供したいと考えている。

国井知余：地域保健実習を担当する立場から、歯科衛生活動のための理論を他教科と関連付けて学べる場を提供したいと考えてい

る。

中澤広美：大学病院，総合病院，高齢者施設，児童施設での勤務経験を基に，社会のニーズを取り入れた学べる場を提供したいと考えている。

矢野杏佳：日本大学歯学部附属歯科病院の勤務経験を基に，歯科衛生士の役割をより実践的に学べる場を提供したいと考えている。

■ 予定表

| 授業日・担当者 | 講義項目 | 学修目的・到達目標 |
|---|---|---|
| 第1回 4月6日 満足 愛 | 歯科衛生学とは (第1章) | ・ 歯科衛生学の定義を知る。 |
| 第2回 4月13日 中澤 広美 | 歯科衛生士の歴史と現状 (第2章) | ・ 歯科衛生士の歴史を知る ・ 歯科衛生実践の現状を理解する。 |
| 第3～5回 4月20日 4月27日 5月11日 矢野 杏佳 | 歯科衛生士法と関連する法規 (第4章) 医療安全確保における 歯科衛生士の役割 (第8章) | ・ 歯科衛生士法に基づく歯科衛生業務を学ぶ。 ・ 関係法規について学ぶ。 ・ 安全管理について学ぶ。 ・ 感染予防対策について学ぶ。 |
| 第6～8回 5月18日 5月25日 6月1日 國井 知余 | 歯科衛生と健康 (第3章) 歯科衛生実践のための理論 (第6章) 保健・医療・福祉の制度と他職種連携 (第9章) | ・ 予防の概念を理解できる。 ・ 保健行動の理論を説明できる。 ・ 歯科衛生の考え方を理解できる。 ・ 歯科衛生士の活動領域を知る。 |
| 第9・10回 6月8日 6月15日 中澤 広美 | 歯科衛生士と医療倫理 (第5章) 歯科衛生士の国際化 (第11章) | ・ 医療従事者としての倫理観を知る。 ・ 医の倫理と患者の権利を理解する。 ・ 歯科衛生士の国際化とグローバルヘルスを知る。 |
| 第11～14回 6月26日 (金) 満足 愛 | IPE 教育 | ・ グループ学修を通じて，多職種への理解を図る。 |